

アジア政経学会 2004年度第2回常務理事会 議事録

1. 日 時 2004年4月10日(土) 15:00~17:00
2. 会 場 霞山会館9F さつきの間
3. 常務理事総数 24名
4. 出席者 17名(天児・石井・上原・小此木・加藤・加納・国分・小島・末廣・高原・田中(恭)・中兼・毛里・山影)
(+業務担当理事:金子・深川・丸川)
5. 委任状提出者 6名
6. 出席者合計 23名(出席者+委任状提出者。うち常務理事20名)
7. 議 長 末廣理事長
8. 議 事

*定刻に、末廣理事長が議長席に着き開会。まず総務担当理事より本日の常務理事出席者は20名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているため、本常務理事会は有効に成立している旨の報告があった。

*本常務理事会の議事録署名人として、高原明生氏、丸川知雄氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

*2004年度第1回理事会(2004年1月24日)議事録を確認した。

*議案1 加納財務担当理事より2003年度の決算報告が行われ、承認された。

*議案2 末廣理事長より2004年度活動計画の報告が行われ、承認された。

*議案3 加納理事より2004年度予算計画の報告が行われ、承認された。

検討事項

1. 2004年度東日本大会(5月29日、城西国際大学)の準備状況について
国分東日本研究担当理事、および塩出会員(実行委員会事務局長;城西国際大学)より当日のプログラム、分科会、共通論題の内容詳細について報告・説明が行われ、承認された。
2. 2004年度西日本大会(6月26・27日、南山大学)の準備状況について
田中西日本研究担当理事より、西日本大会は2日間に渡って行われること、および分科会、自由論題の準備状況、報告者について報告が行われた。
3. 2004年度全国大会(10月30・31日、東北大学)について
末廣理事長より、米倉理事を主催校の実行委員長として、事務局と連絡をとりあいながら、実施に向けて準備を進めてゆく旨の報告が行われた。
4. 「地域研究コンソーシアム」への学会としての参加について
①石井理事より、コンソーシアムについての説明および、2月27日のコンソーシアム

設立準備委員会にオブザーバーとして出席した際の内容報告が行われ、当学会の今後の参加が承認された。続いて毛里理事より追加説明が行われた。また、4月26日の設立集会に、末廣理事長が「第3カテゴリー」の機関として当学会より参加する予定である。

②高原理事より、3月14日、日本学術会議が設置を決めた「地域研究学会連絡協議会小委員会」に出席した際の内容報告が行われた。東アジア研究を代表する立場として、当学会から小委員会へ代表者を出すことを要請された。

5. 「アジア研究者データベース」作成に関する事業の進展と会員の協力について

末廣理事長より報告が行われ、『アジア研究』のPDF化、アジア政経学会会員のデータベース化、アジア関連のCEOとのリンケージに関するホームページの立ち上げ、研究業績目録作成のためのパスワードと会員による書き込み・セキュリティーの確保等について説明、提案がなされた。

6. 「アジア政経学会優秀論文賞」について

選考委員長の上原理事より2つの議案が出された。

まず、選考副委員長を置くか否かについてであるが、議論の結果、置かないことで承認され、規約からも「副委員長」が削除されることとなった。

次に、賞状について、理事長もしくは選考委員長のいずれかの名前で出すのか、もしくは両者併記かということについて、同様に議論の結果、理事長名を記載することで承認された。

7A. 機関誌『アジア研究』の編集体制と出版・編集の変更の進捗状況について

編集担当金子理事より、新編集体制について、拡充後の編集委員・書評委員のリストをもとに報告が行われた。続いて『アジア研究』第50巻2号の内容・編集状況について、前編集担当加藤理事より報告が行われた。なお、第50巻3号より、印刷所が中西印刷に変更される。

7B. 『アジア研究』掲載論文の転載許可について

金子理事より、転載許諾申請書(案)をもとに説明・報告が行われ、書式、および申請書提出先を編集委員長とすることが承認された。

8. 財務の引継ぎについて

新財務担当深川理事より報告・説明が行われ、承認された。

9. 総務事務局の事務一部代行について

末廣理事長より、業務代行委託先であるお茶の水学術事業会との、契約および見積もりの内容について、報告と説明が行われた。

10. 学会の登記更新について

丸川理事より、法務局への学会役員変更登記および印鑑届出が済んだとの報告が行われた。

11. その他

①組織制度改革について、制度改革委員長天児理事より報告・提案が行われた。

中でも寄付行為記載の役員の呼称について、常務理事、理事をそれぞれ理事、評議員に変更する案と、それに伴う会議名称の変更の点で、議論が行われた。

12. 入・退会者について

以下の入会希望者8名、復帰希望者1名、退会希望者17名の承認が行われた。

<入会者> 8名

大村晴（東京大学大学院総合文化研究科 院生）

Lau Sim Guan（東京国際大学大学院経済学研究科 院生）

加茂紀子（日本大学商学部 助教授）

羅京洙（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 院生）

伊藤和歌子（法政大学大学院社会科学研究所 院生）

孔麗（北海学園北見大学商学部 講師）

金野純（一橋大学大学院社会学研究科 院生）

何立新（一橋大学大学院経済学研究科 院生）

<復帰> 1名

前坊洋（オクスフォードブルックス大学 客員研究員）

<退会者> 17名

呉曉東（西南学院大学大学院 研究生）

延末謙一（高知医大学生・元アジア経済研究所）

飯塚央子（武蔵野短期大学）

渡邊尚（東京経済大学 教授）

中川学（拓殖大学海外事情研究所）逝去

梶田幸雄（株式会社日本経営システム研究所）

藤井亮二（参議院予算委員会調査室）

藤井茂（神戸大学名誉教授・名誉会員）逝去

陶大寧（立命館大学大学院経済学研究科 院生）

山岡道男（早稲田大学アジア太平洋研究センター）

長坂寿久（拓殖大学国際開発学部）

黒沢一晃（神戸松蔭女子学院大学）

高瀬浄（秀明大学政治経済学部）

松谷賢次郎（九州国際大学国際商学部）逝去

Nguyen Thi Lan Huong（東京大学大学院人文社会系研究科 院生）

浦野 起央（日本大学法学部）

日本ガイシ株式会社（維持会員）

末廣理事長が午後5時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成16年4月10日

財団法人アジア政経学会

議長

末廣 昭



議事録署名人

丸川 知雄



議事録署名人

高原 明生

